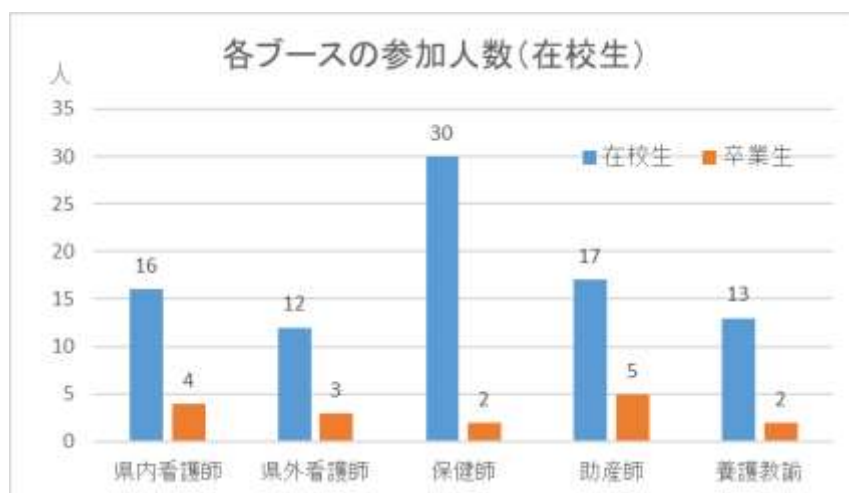


桜看会総会

令和元4年10月22日（土）の午後、山口看護学会に引き続き桜看会の総会が開催されました。総会では、事業及び会計報告がされ、本年度の事業計画と予算案が承認されました。

桜看会分科会

総会に引き続き、在学生主催の分科会を行いました。コロナ禍でありオンライン開催となりましたが、参加者は卒業生16名、在学生88名、運営スタッフ8名の総計112名でした。



分科会では、はじめに、在校生から、現在工事が進んでいる北キャンパスの風景をスライドショーにまとめて紹介しました。先輩方に懐かしい母校と共に、在学していた当時とは異なる、新たな県立大学の一面を伝えることができたのではないかと思います。



次に、業種、所属ごとに5つのブースに分かれて、卒業した先輩方から学生生活や就職活動等のアドバイスをいただきました。在學生は、事前に先輩方に聞きたいことを用意していましたが、桜看会の先輩だからこそ聞ける素朴な質問に対し、先輩方が一つ一つ丁寧に答えてくださいました。在學生からの質問は、国家試験対策、大学時代にやっておけばよかったこと、就活の実態、採用試験対策、在学時からできる準備、卒業して一番困ったこと、仕事の現状等多岐にわたりました。



分科会終了後のアンケートでは、在學生の約9割が「満足またはやや満足」と答えていました。

「現場の様子や勤務実態、残業時間等、実際のリアルな業務の様子を聞いた」「看護で学んだことが学校現場でも十分発揮されることがわかった」「勉強に対するモチベーションが高まった」等の感想の他、「少人数で少なくしたら質問がしやすいのではないか」「希望ブースが2つある場合に他ブースが聞けない」等の意見もありました。

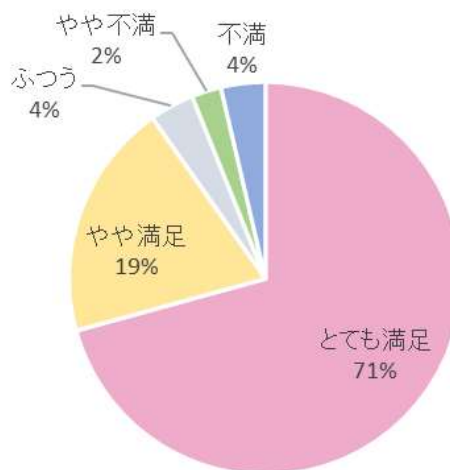
卒業生は、約6割が「満足またはやや満足」と答えていました。

良かった点は、「自分がやってきたこと・思い伝える場となったこと」「他の卒業生の話を聞ける機会となった」。一方で、「非対面でやりにくい部分があった」「在學生から直接悩み聞きたいことなど、生の声が聞けると良かった。」との改善の必要な意見もありました。

今後もよりよい交流会になるよう、これらの意見を生かしていきたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、以前のように対面での交流会ができるようになれば、対面とオンライン双方のメリットを生かした開催方法も模索していきたいと思います。

在學生の満足度



卒業生の満足度

